

2023年2月3日

## 肥料事業の再編について

住友化学は、このたび、肥料事業の再編の一環として、愛媛工場（愛媛県新居浜市）にある化成肥料の製造設備を2024年9月末をめどに停止することといたしました。

住友化学は、気候変動への対応に加えて生態系保全や人々の健康促進などを含めた広義のグリーントランスフォーメーション（GX）の視点に立ち、事業ポートフォリオの変革を推進しています。肥料事業においては、事業の継続に向けた構造転換を目指し、品目展開の見直しに着手しました。その中で、化成肥料については、成熟化した国内市場環境や昨今の原料価格高騰など厳しい事業環境に対して、これまでコストの合理化などに努めてきましたが、製造設備が高経年化し、更新費用が増加するなど、中長期にわたって安定的に収益を確保することは困難との判断に至り、製造を停止することといたしました。なお、被覆肥料、液体肥料、硫安、硝安については愛媛工場での製造を継続していきます。

住友化学は、総合化学企業としての強みを活かした革新的なソリューションの提供に取り組んでおり、肥料事業においては分解性被覆肥料技術やバイオスティミュラント\*などを含む機能性液体肥料などの開発、提供を通じて、引き続き安全・安心な農業に貢献してまいります。

※ 作物の栄養素吸収や栄養素利用の効率向上、あるいは乾燥、高温、低温などの非生物的ストレスに対する作物の耐性を高める効果を有し、作物の品質や収量の改善に寄与する天然物由来の農業資材

以上